

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病害虫発生・防除情報メールサービス（6月）

大阪府内の6月の病害虫発生状況と今後1か月の防除対策についてお知らせします。

例年、梅雨期に病害が多発しますので、しっかり対策をしましょう。

6月から8月は農薬危害防止運動月間です。農薬の安全かつ適正な使用を徹底し、農薬の使用に伴う事故・被害を防止しましょう。

- 各病害虫の発生状況は、巡回調査や植物防疫協力員の報告等をもとに作成しています。
- 各病害虫の詳細や、農薬を使用しない防除方法等は、下記ホームページの「防除指針」を参照してください。
- 新たな農薬の評価手法（短期暴露評価）が導入されることに伴い、登録変更（変更申請中のものを含む）によって、使用が制限される農薬がありますので注意してください。
詳しくは、販売店で提供されるチラシ等や下記ホームページを確認してください。

「病害虫防除グループホームページ 防除指針」<http://www.jpnp.ne.jp/osaka/>

「短期暴露評価により変更される農薬の使用法の周知等について」

http://www.jpnp.ne.jp/osaka/H27nd/ARfDtutu/ARfDH27_top.html

目次

1	水稲	P. 1~2
2	果樹（ぶどう、温州みかん、もも、いちじく、果樹類全般）	P. 3~6
3	野菜（なす、トマト・ミニトマト、非結球あぶらな科葉菜類）	P.7~10
4	きく	P. 10~11
5	野菜類・花き類全般	P. 12

病虫害発生・防除情報メールサービス（6月）

1 水稻

《6月前半の病虫害発生状況》

品目	程度	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
水稻			いもち病			
			縞葉枯病			
			ヒメトビウンカ			
			スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）			

《防除時の注意点》

- 昨年、ジャンボタニシの発生がやや多く見られました。早めの対策を行いましょう。

いもち病



葉いもち

- ◆多湿で日照不足の時に発生しやすく、降雨、窒素過多、過繁茂などの場合に助長される。
- ◆補植用の置苗は発生源となりやすいので本田に放置せず早めに処分する。
- ◆本田において、発生が見込まれる場合には、オリゼメート粒剤、コラトップ粒剤5、フジワン粒剤等を施用する。
- ◆発生を認めたら、ブラシンフロアブル等を散布する。

縞葉枯病（ヒメトビウンカ）



ヒメトビウンカ（雌成虫）※

- ◆縞葉枯病は、ヒメトビウンカにより媒介される。
- ◆6月下旬～7月上旬の感染が多いので、この時期のヒメトビウンカの防除を徹底する。
- ◆生育初期に発病すると、葉が「こより状」に巻いて垂れ下がり、その後枯れる。
- ◆発生が多い場合は、アプロード水和剤、スタークル（アルバリン）粒剤、トレボン粒剤等を散布する。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）



- ◆ピンク色の卵塊を発見した場合は、水中に掻き落とす。
- ◆水深4 cm以下では自由に移動できないので、田植え後の浅水管理が有効である。
- ◆田植直後にスクミノンなどを散布する。
もしくは発生時にスクミンベイト3を散布して、食害を防止する。

注) スクミノン使用後は7日間湛水状態にし、かけ流しや落水はしない。

2 果樹（ぶどう、温州みかん、もも、いちじく、果樹類全般）

《6月前半の病害虫発生状況》

品目 \ 程度	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
ぶどう			べと病		
			灰色かび病		
			アザミウマ類		
温州みかん			黒点病		
			ミカンハダニ		
			カイガラムシ類		
もも			せん孔細菌病		
			シンクイムシ類		
いちじく			アザミウマ類		
			イチジクヒトリモドキ		
果樹類全般			果樹カメムシ類		

＜ぶどう＞

灰色かび病

《防除時の注意点》

■ハウス内の湿度が高くなりすぎないように、注意しましょう。



- ◆適切な換気やマルチングを行い、湿度を下げるようにする。
- ◆花がらが発生源となることが多いので、開花後に花がらを取り除く。
- ◆発生を認めたら、オンリーワンフロアブル（前日まで）、ピクシオDF（前日まで）などを散布する。

べと病



- ◆露地の多発ほ場では梅雨の晴れ間の予防が重要
- ◆予防的にICボルドー66D、ICボルドー48Q、ストロビードライフロアブル（14日前まで）、レーバスフロアブル（7日前まで）などを散布する。
- ◆農薬を散布する際は、薬害や果実の汚れを避けるため、傘・袋かけ後は棚上散布を行う。
- ◆多発して落葉すると樹勢が低下し、次年度にも影響するので、収穫が終わった園もしっかり防除する。

チャノキイロアザミウマ



被害果実

- ◆巨峰、シャインマスカット等の大粒系品種で被害が大きいのので注意する。
 - ◆コルト顆粒水和剤（前日まで）、スタークル（アルバリン）顆粒水溶剤（前日まで）などを散布する。
- 注）コルト顆粒水和剤を幼果期以降に使用する場合は、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意する。

<温州みかん>

黒点病



- ◆梅雨期で降雨が多くなると発生が増加する。
- ◆ジマンダイセン水和剤（30 日前まで）、ペンコゼブ水和剤（30 日前まで）などを散布する。
- ◆ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤を使用する場合は、皮膚のかぶれに注意する。また、両剤とも、かんきつ（みかんを除く）では収穫 90 日前までなので注意する。

ミカンハダニ



被害葉

- ◆梅雨明け後に発生が多くなる。
- ◆6月中～下旬に、ハーベストオイル、トモノールSなどのマシン油剤を散布する。

コナカイガラムシ類



フジコナカイガラムシ※

◆ 6月中～下旬の幼虫発生期にスタークル（アルバリン）顆粒水溶剤（前日まで）、コルト顆粒水和剤（前日まで）（カイガラムシ類（アカマルカイガラムシ類を除く））などを散布する。

<もも>

<<防除時の注意点>>

■ 昨年、せん孔細菌病が多発しました。発生が多い園地では降雨前の防除を徹底しましょう！

せん孔細菌病



被害果実

被害葉

- ◆ 発病葉、発病果実は除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- ◆ 発生が見込まれる時期に、パリダシン液剤5（7日前まで）、スターナ水和剤（7日前まで）を散布する。
- ◆ 風当たりの強い園地では、防風ネット等を設置する。

シンクイムシ類



被害果実

- ◆ 被害果実や被害枝は除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- ◆ モスピラン顆粒水溶剤（前日まで）、サムコルフロアブル10（前日まで）などを散布する。

<いちじく>

アザミウマ類



被害果実

- ◆園地周辺の除草を行う。
- ◆ディアナWDG（前日まで）、スピノエース顆粒水和剤（前日まで）などを散布する。

イチジクヒトリモドキ

■幼虫の発生時期になります。新梢生育期に食害を受けると被害が大きいため初期防除が重要です。



- ◆若齢幼虫は集団で加害するので、成長して広範囲に分散する前に葉ごと処分する方法が効果的である。
- ◆アディオンの乳剤（前日まで）、モスピラン顆粒水溶剤（前日まで）などを散布する。

<果樹類全般>

カメムシ類

■もも、うめ、かき、ぶどう、みかんなどの果実に傷をつける。



クサギカメムシ

- ◆園全体を目合4mmのネットで覆い、侵入を防止する。
- ◆発生を確認した場合は（かんきつ、かき、もも）
アディオンの乳剤（かんきつ14日前まで、もも7日前まで、かき7日前まで）
スタークル（アルバリン）顆粒水溶剤（かんきつ前日まで、もも前日まで、かき前日まで）
などを散布する。
注）作物毎に登録内容が異なるのでラベル等で確認すること。

3 野菜（なす、トマト・ミニトマト（施設）、非結球あぶらな科葉菜類）

《6月前半の病害虫発生状況》

品目	程度	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い	
なす			すすかび病				
				灰色かび病			
					うどんこ病		
				アザミウマ類			
トマト・ミニトマト （施設）			葉かび病・すすかび病				
				灰色かび病			
				コナジラミ類			
非結球あぶらな科葉菜類				コナガ			

《防除時の注意点》

■暖かくなり病害虫が増えやすくなってきました。初期防除（予防散布）を徹底しましょう。

<なす>

すすかび病



すすかび病

- ◆ハウスを閉め切り湿度が上がると発生しやすくなる。換気を行い、湿度を下げるなど注意する。
- ◆発生前に、ベルコート水和剤（すすかび病、灰色かび病）（前日まで）を、発生を認めたら、トリフミン乳剤（すすかび病）（前日まで）、カンタスドライフロアブル（すすかび病、灰色かび病）（前日まで）を散布する。

灰色かび病



- ◆過湿で過繁茂になると発生しやすくなる。
- ◆開花が終わった花がらから感染が始まることが多い。
- ◆発生前に、フルピカフロアブル（前日まで）、ポトキラー水和剤（発病前～発病初期、日数制限なし）を、発生を認めたら、セイビアーフロアブル20（前日まで）やゲッター水和剤（前日まで）、ピクシオ DF（前日まで）などを散布する。

うどんこ病



- ◆日照不足、乾燥条件下で多発する。
- ◆発生前に、ベルコート水和剤（前日まで）、フルピカフロアブル（前日まで）を、発生を認めたら、パンチョTF顆粒水和剤（前日まで）やアフエットフロアブル（前日まで）などを散布する。

アザミウマ類（ミナミキイロアザミウマ・ミカンキイロアザミウマ）



- ◆高温小雨で増えやすい。
- ◆この時期はネギアザミウマ（黒褐色が多い）が収穫時期を迎えたタマネギから多く飛来（特に露地）するが、ミナミキイロアザミウマやミカンキイロアザミウマと異なり、なす果実への被害はほとんどない。
- ◆発生を認めたら、モベントフロアブル（前日まで）、プレオフロアブル（ミナミキイロアザミウマ）（前日まで）、ディアナSC（前日まで）を散布する。

<トマト・ミニトマト（施設）>

灰色かび病



- ◆低温多湿時に発生が多い。花がらや果実のがくから発生し、果実に被害が発生する。
- ◆発生前にベルコート水和剤（前日まで）やフルピカフロアブル（前日まで）等、発生を認めたらロブラール水和剤（前日まで）やアフエットフロアブル（前日まで）などを散布する。

■発生は平年並ですが、抵抗性品種ではない場合、発生に注意しましょう。

葉かび病・すすかび病



葉かび病の病斑



すすかび病の病斑

葉かび病・すすかび病とも、

◆窒素過多、過湿条件で発生する。

◆発生前に、ダコニール1000（前日まで）、ペルコートフロアブル（前日まで）を散布し、発生を認めたら、トリフミン水和剤（前日まで）、アフェットフロアブル（前日まで）を散布する。

注）トマトとミニトマトで登録内容が異なる場合があるので、ラベル等で確認すること。

コナジラミ類



◆オンシツコナジラミ、タバココナジラミが発生する。

◆特にタバココナジラミは TYLCV（トマト黄化葉巻ウイルス）を伝搬し、致命的な被害をもたらすこともある。

◆ハウス開口部を目合い0.4mmのネットで被覆し侵入を防止するとともに、ハウス周辺の除草を徹底する。

◆コルト顆粒水和剤（前日まで）、スタークル（アルバリン）顆粒水溶剤（前日まで）等を散布する。

<非結球あぶらな科葉菜類>

■府内で薬剤抵抗性のコナガが確認されているので、薬剤選定に注意が必要です。

コナガ



- ◆一部地域でジアミド系殺虫剤に対する抵抗性が生じている。
- ◆定植前灌注処理あるいは定植時粒剤施用、本ぽでの散布薬剤は異なる系統を使用し、同じ系統の薬剤は連用しない。

4 きく

<< 6月前半の病害虫発生状況 >>

品目	程度	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
きく				黒斑病・褐斑病		
				白さび病		
				アザミウマ類		
				アブラムシ類		

黒斑病、褐斑病



- ◆雨滴によって感染が拡大するので、この時期はしっかり防除する。
 - ◆被害葉は取り除いて処分する。
 - ◆ダコニール1000、ストロビーフロアブルなどを散布して予防する。
- 注) ストロビーフロアブルは高温多湿条件下では薬害の恐れがあるので使用しない。また、他剤との混用は薬害が生じる恐れがあるので注意する。

白さび病



- ◆ハウスでは換気を良好にし、湿度を下げる。
- ◆被害葉は取り除いて処分する。
- ◆ストロビーフロアブルなどを散布し、予防に努める。
- ◆発生を認めたら、トリフミン乳剤を散布する。

注) ストロビーフロアブルは高温多湿条件下では薬害の恐れがあるので使用しない。また、他剤との混用は薬害が生じる恐れがあるので注意する。

アザミウマ類



ミカンキイロアザミウマ※

- ◆発生源となる周辺の除草を行う。
- ◆発生を認めたら、ディアナSC、アフアーム乳剤（ミカンキイロアザミウマ）などを散布する。

5 野菜類、花き類（露地）全般

品目	程度	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
野菜類・ 花き類(露地)				アブラムシ類		
				オオタバコガ		

アブラムシ類



- ◆高温乾燥条件で早く増え、例年より多い傾向が見られる。
- ◆作物から吸汁し樹勢を弱らせる。また排泄物にカビが発生し、すす病の原因となる。さらに各種のウイルスを媒介し、作物によっては致命的な被害をもたらす。

オオタバコガ



なすの花に寄生するオオタバコガ幼虫

- ◆果実や茎などに食入し、食害痕のまわりに虫糞が確認されることが多い。
- ◆食入孔の中にいるため薬剤がかかりにくく、さらに老齢幼虫には薬剤の効果が落ちるため、捕殺等も含めて早めに対応を行う。
- ◆発生を認めたら、プレオフロアブル（なす、トマト、ミニトマト、未成熟とうもろこし、花き類など）、アニキ乳剤（なす、トマト、ミニトマト、未成熟とうもろこし、きくなど）などを散布する。

病害虫防除グループホームページ「防除指針」 (<http://www.jpnn.ne.jp/osaka/>) を参照してください。

農薬を使用する際は、ラベルの登録内容を確認してください

※原図：(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所

* 出典：ひと目でわかる 花と野菜の病害虫 大阪府園芸植物病害虫図鑑（社団法人大阪府植物防疫協会）

次回の情報は、7月15日頃にお知らせします。